

木村邦舟 （きむら くにわ） 舊熊本藩士、教育家。天保九年六月十一日肥後國玉  
 名郡高瀬生れ、明治二十年九月十九日歿（一八六―一九七）。講談雄・別號  
 六眼子、悲喜笑道人、有命園主人、紅淚散民、臍齋。木下雄村、次（ついで）  
 林櫻園の學友。慶應四年熊本藩に登用せられる。明治二年山口縣脱退  
 事件に下獄。釋放後一時教職に従事し、十一年の廣澤參議陪殺事件に  
 連坐して再度入獄。のち熊本中學校、熊本師範學校各校長を經て、十  
 六年宮内省御用掛、二十一年經濟總覽長等歴任。  
 著書『血史』（第一版・昭和十八年十一月十日熊本・熊本市教育會。  
 附録「論第八篇」、木村鷗舟編「邦舟木村玄雄傳」）等。

